



# 市報 こだいら



ふるペー



高齢者対象 季節性インフルエンザ予防接種…5面  
FC東京クラブ設立25周年  
これからも、ホームタウン小平と共に……6・7面  
こだいら生きもの展 イラストを募集……9面  
認可保育園などの保育料  
第二子無償化を開始……10面



# 4年ぶりに開催 小平市民まつり

和っしょ〜い!  
こだいら!!

ふるさと小平の秋を華やかに彩る、小平市民まつりを4年ぶりに開催します。あかしあ通りでは、愛らしい手づくりの子どもみこし、強い団結力が売りのダンスパレード、演奏や趣向を凝らしたパレード、迫力あふれる大人みこしがまつりを盛り上げます。模擬店も多数出店します(詳しくは2・3面)。  
問合せ 小平市民まつり実行委員会事務局(市民協働・男女参画推進課内) ☎ 042(346)9532

題字は、一般の部 小泉由佳さんの作品

## 市制施行 記念日を迎えて

小平市長 小川 浩子



61回目の市制施行の日を迎え、ご挨拶申し上げます。市民の皆さまにおかれましては、日々小平市政にご理解ご協力いただいておりますこと、改めて感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症の位置づけは、これまで「新型インフルエンザ等感染症(いわゆる2類相当)」としていましたが、本年5月8日から「5類感染症」になりました。これに伴い、感染防止対策については、一律に求めるのではなく、個人・事業者の皆さまの状況に応じた自主的な判断と取り組みが基本となりました。こうした中、イベントなども再開し、夏には灯りまつりや盆踊りなどが各地で開催され、大勢の市民でにぎわいました。また、今後も市民まつりははじめ、たくさんのイベントが予定されています。ほとんどが4年ぶりの事業となりますので、入念に準備をしまして、取り組んでまいります。さて、市ではこれまでも行政のみではなく、NPO、ボランティア団体、自治会、民間事業者などの多様な主体と、いかに連携・協働するかというところに重点を置き、市政運営を進めてきました。経済状況の変化、社会資本の老朽化、安全・安心への対応など、市を取り巻く状況の変化は目まぐるしく、ますます迅速な対応や説明責任が求められてきています。そのため、行政はこれまで以上に経営感覚に富んだ執行体制の構築が必要です。また、市民や事業者、団体などの皆さまが、サービス提供の担い手にとどまらず、地域において経営の一端を担うという考え方も必要です。現在進めている鷹の台公園整備事業では、民間事業者を対象に実施したサウンディング型市場調査(民間事業者と市の対話)の結果を踏まえ、今後、公民連携手法により整備および管理運営を行ってまいります。また、老朽化が進む学校の更新では、地域学習・コミュニティ機能を複合化することにより「小学校を地域の核」とした地域コミュニティの醸成を図り、(仮称)地区交流センターを整備するなどの取り組みを進めてまいります。引き続き、限られた経営資源を最大限に活用し、最適な手法を選択しながら、進めてまいります。市民の皆さま、共に住みやすいまち小平を作ってまいります。